

令和7年度
4年次編入学生募集要項

〔 学 校 案 内 〕



願書受付期間	令和6年7月12日(金)～17日(水)
学力検査・面接	令和6年8月26日(月)
合格発表	令和6年8月29日(木)

独立行政法人 国立高等専門学校機構
石川工業高等専門学校

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条
電 話 076-288-8024 (学生課入学試験係)
F A X 076-288-8032
E-mail bosyu@ishikawa-nct.ac.jp
ホームページ <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/>

石川高専のアドミッションポリシー (入学者受入方針)

○編入学のアドミッションポリシー

1. 工学の基礎を身につけている人
2. 向上心を持ち、より高い目標に向けて努力する人
3. 自主性と協調性を持ち、社会貢献する意欲のある人

準学士課程の学習目標

1. 技術者として必要な基礎学力と専門的知識を身につける。
2. 意欲的・実践的に、ものづくりや課題の解決に最後まで取り組むことができる。
3. 幅広い視点から自らの立場を理解し、地域・国際社会や環境に配慮できる。
4. 自分の考えを正しく表現し、公正に意見を交換することができる。

目 次

I 編入学生募集要項

1. 編入学を実施する学科, 募集人員及び編入学年	1
2. 出 願 資 格	1
3. 出 願 手 続	1
4. 受験票の交付	2
5. 選 抜 方 法	2
6. 学力検査・面接の日時及び会場	3
7. 合 格 発 表	3
8. 意志確認書の提出	4
9. 入 学 手 続 等	4
10. 障がい等のある者の出願	4
11. 個人情報取扱の取扱い	4
12. 学力検査結果の簡易開示について	4

II 学 校 案 内

1. 教育課程の紹介	5
2. 各学科の紹介	5
3. 専攻科の紹介	6
4. カリキュラム	7
5. 諸 経 費	12
6. 奨 学 金 制 度	12
7. 入学料・授業料の減免及び徴収猶予制度	12
8. 課 外 活 動	13
9. 学 生 寮	13
10. 卒業後の進路	13

I 編入学生募集要項

1. 編入学を実施する学科，募集人員及び編入学年

学 科	募集人員	編入学年
機 械 工 学 科	若干名	第 4 学 年
電 気 工 学 科	若干名	
環境都市工学科	若干名	
建 築 学 科	若干名	

※電子情報工学科については，令和7年度は募集を行いません。

2. 出願資格

高等学校を令和7年3月卒業見込みの者又は卒業した者で出身学校の長が推薦する者

3. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年7月12日(金)～7月17日(水) 9:00～17:00

(土日，祝日を除く。なお，郵送による場合も出願期間内の必着とします。)

(2) 提出先

石川工業高等専門学校 学生課入学試験係

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条

(3) 出願書類等

次の書類を一括して，本校学生課入学試験係あてに提出してください。郵送する場合は，角型2号(24cm×33cm)の封筒に入れて封筒の表に「4年次編入学願書在中」と朱書きのうえ，簡易書留郵便にて郵送してください。

本校所定の用紙については下記のホームページからダウンロードし，A4サイズの用紙に印刷のうえ，使用してください。

本校ホームページ <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/adm/>

①	入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	写 真 票 及 び 受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入し，写真を所定の位置に貼付してください。 【写真は正面上半身，無帽，無背景(縦4cm×横3cm)で，出願前3か月以内に撮影したもの。裏面に，志望学科と氏名を記入してください。】
③	志 望 理 由 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
④	推 薦 書	本校所定の用紙により，出身学校長が作成してください。
⑤	卒 業 見 込 証 明 書 又 は 卒 業 証 明 書	出身学校所定の用紙により，出身学校長が作成してください。
⑥	調 査 書	出身学校所定の用紙により，出身学校長が作成してください。

⑦	<p>検定料を振り込んだことが証明できるものの写し</p>	<p>検定料 16,500円 振込期間 令和6年7月9日(火)～7月17日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記期間に下記口座へ振込の上、振込が証明できるもの(振込日付のある「振込金証明書」やATMでの「ご利用明細書」等)の写し(A4サイズ)を提出してください。 ・金融機関窓口、ATM(現金自動預払機)、インターネットから、のいずれの振込も受け付けます。 ・振込手数料はご負担ください。 <p>振込先：北國銀行 津幡支店 口座種別：普通預金 口座番号：428719 受取人：独立行政法人国立高等専門学校機構本部</p> <p>既納の検定料は、以下の場合を除き返還できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった又は受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合 <p>上記に該当し、検定料の返還手続きを行う場合は、担当まで連絡してください。 担当：石川工業高等専門学校 総務課財務係 電話 076-288-8021</p>
---	--------------------------------------	---

※出願に関する注意事項

- ① 出願書類の記入は 黒色のペンまたはボールペンを使用してください。
- ② 書類提出後は、記載事項の変更及び書類の返還は認めません。

※建築学科希望者の建築士等の受験資格取得に関する注意

高等学校での履修状況によっては、建築学科を卒業時に建築士等の受験資格が取得できない場合がありますので、出願に先立ち、事前に相談してください。

4. 受験票の交付

出願時に受験票を交付します。

郵送による出願の場合は、入学願書記載の住所に郵送します。

7月26日(金)を過ぎても受験票が届かない場合は、本校学生課入学試験係まで連絡してください。

5. 選抜方法

学力検査及び面接の結果並びに調査書の内容を総合判定して行います。

(1) 学力検査科目

学力検査は、数学、英語及び専門の3科目について筆記試験を行い、数学100点満点、英語100点満点、専門科目300点満点とします。なお、1科目でも受験しないと失格(不合格)になります。

志望学科	検査科目	出題範囲	
全学科共通	数学	数学Ⅰ, 数学Ⅱ	
	英語	英語コミュニケーションⅠ, 論理・表現Ⅰ	
機械工学科	専門	機械設計	機械に働く力, 材料の強さ, 機械要素と装置(締結要素, 軸要素, 伝達装置)
		機械工作	機械材料, 各種の工作法

電 気 工 学 科	専 門	電 気 回 路	電気回路の要素, 直流回路, 交流回路
		電 子 回 路	電子回路素子, 増幅回路 (低周波増幅回路)
環 境 都 市 工 学 科	専 門	土 木 基 盤 力 学	土木力学, 水理学
		土 木 構 造 設 計	土木構造力学
		測 量	土木における測量, 平面の測量, 高低の測量
建 築 学 科	専 門	建 築 構 造	建築材料, 木構造, 鉄筋コンクリート構造, 鋼構造
		建 築 構 造 設 計	構造物に働く力, 静定構造物に働く力, 部材に関する力学
		建 築 計 画	建築の歴史, 建築物の企画や計画, 都市の計画
		設 備 計 画	建築と住環境, 建築の設備

(2) 面 接

志望動機や目的意識についての面接を行います。

6. 学力検査・面接の日時及び会場

(1) 日 時

月 日	時 間 割			
	数 学 (70分)	英 語 (50分)	専 門 (100分)	面 接
8月26日 (月)	9:30 ~ 10:40	10:50 ~ 11:40	12:40 ~ 14:20	筆記試験 終了後

(注) ア. 20分以上遅刻した場合は, 受験を認めません。

イ. 昼食を持参してください。

(2) 検査会場

石川工業高等専門学校 (注)当日は9時10分までに検査室に集合してください。

7. 合格発表

令和6年8月29日(木) 正午頃

本校構内に合格者の受験番号を掲示するとともに, 本校ホームページにより発表します。また, 合格者本人及び全ての出願者の出身学校長あてに文書で通知します。

電話等による合否の照会には応じません。

8. 意志確認書の提出

合格通知を受けた者は、「意志確認書」を令和6年9月3日(火)17時までに本校学生課入学試験係まで提出してください。

9. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については「意志確認書」で入学の意志を表示した者に、2月下旬頃に通知します。

なお、企業等に在職のまま入学を希望する者は、入学手続日までに所属企業等の長の承諾書（様式任意）を提出してください。

10. 障がい等のある者の出願

障がい等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、事前に相談してください。

連絡先：石川工業高等専門学校 学生課入学試験係

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条 電話 076-288-8024

11. 個人情報の取扱い

提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (5) 本校教育後援会、生活協同組合及び同窓会の事務
- (6) その他、個人が特定できない形で行う統計処理

12. 学力検査結果の簡易開示について

受験者本人から申請があった場合、3科目（数学・英語・専門）の科目別得点及びその合計点について郵送により開示します。

開示方法等の詳細については、受験票交付時に送付します。

開示請求の際には受験票（原本）が必要となりますので、試験終了後も紛失しないよう注意してください。

Ⅱ 学校案内

工業高等専門学校は、深く工業に関する技術と理論を教え、職業に必要な能力を養成し、人間性豊かな実践的技術者を養成することを目的としています。

本校は昭和40年に創設された国立の工業高等専門学校で、機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、環境都市工学科及び建築学科の5学科が置かれています。入学定員は各学科40名で合計200名です。卒業生の約半数は企業や官公庁に就職し、約半数は高専専攻科や国公立大学（3年次編入学）に進学しています。

1. 教育課程の紹介

高等専門学校の教育課程には、次のような特色があります。

(1) 修業年限5年の一貫した教育を行っています。

(2) 第1学年から一般科目とともに専門科目も履修し、専門科目の比率は学年進行に伴って大きくなっていきます。第3学年では一般科目と専門科目の比率は ほぼ半々になります。

一般科目は、心身ともに豊かな技術者を養成するため、人文・社会科学系科目、自然科学系科目及び外国語、保健体育、芸術に関する科目を開講し、さらに特別教育活動においても、重要な役割を担っています。開講される科目は、専門学科すべてに共通するものであり、教育課程においては 高専の特色としての一貫教育の見地から、学生の成長発達段階に応じて、後期中等教育及び一般教養ともに充足するように配当されています。現在、全学生は7ページに示す一般教育科目を修得することになっています。

(3) 第4学年からの専門科目は理論的なもの、応用的なもの、高度なものへと進み、実験、実習の時間が多くなります。そして第5学年では、さらに卒業研究を行います。

このように5年間を通して専門知識を基礎から積み上げていき、実践的かつ創造性ある技術者を育成するカリキュラムを目指しています。卒業生は産業界からも常に高い評価を受けています。

◇創造工学プログラム

本校では 本科4年の一部から専攻科2年までについて、全学科・専攻を一つにした「創造工学プログラム」を設定しています。このプログラムは、複合工学修得コースと専門工学探究コースからなり、このうちの複合工学修得コースは日本技術者教育認定機構（JABEE）によって国際的に通用する技術者を育成するプログラムとして、平成18年5月に認定されました。

2. 各学科の紹介

◇機械工学科

機械工学はあらゆる工業技術の基幹をなしており その内容は日夜進展しています。機械工学科では、そのような変化に常に対応できるように、低学年での「ものづくり」の基礎と実技をふまえ、高学年では幅広い分野の理論と応用を学びます。さらに新素材、エネルギー、ロボットなどの分野の選択科目から自分の興味のある科目を選んでより深く学習することができます。年間を通した5年生の卒業研究では、未知の領域に踏み込み、新しい結果を導き出すことを体験し、将来どのような分野にも対応できるような柔軟な適応力の養成に心掛けています。

◇電気工学科

現在、社会発展の原動力とも言えるエネルギー、エレクトロニクス、制御、通信、情報等はいずれも電気工学が深くかかわりを持つ分野であり、電気工学科は、これらの領域で活動できる有為な技術者を養成することを目指しています。特に、実験・実習に多くの時間をかけることにより、基礎的技術及び理論の効果的な把握をはかり、同時に応用理論も習得できるようにしています。

また、学外実習や工場見学等により企業実態に触れる機会も多く、創造工学実験や卒業研究では実践的な応用能力や創造力の養成を行います。

◇電子情報工学科

電子、通信及び情報関係等の先端技術分野の人材不足が、社会的に大きな問題となっています。この傾向は、将来にわたって続くことが予想され、電子技術と情報処理技術及びこれらを融合した技術を身につけたエンジニアが、産業界のあらゆる分野で要求されています。電子情報工学科では、電子工学系の基礎及び応用、コンピュータハードウェア、ソフトウェアの基礎並びに応用について講義、演習、実験、卒業研究を通して十分に教育し、将来はどの方向に進んでも存分に活躍できる、明日を支える技術者を養成することを目指しています。

◇環境都市工学科

私たちが環境と調和しながら豊かに暮らすために必要な、上下水道、発電、道路、鉄道、空港、港湾などの街のあらゆる施設の建設、維持管理を行っていくために環境都市工学の技術が使われています。

環境都市工学科では、どのような分野にも対応し得るよう基礎的な理論から最新のコンピュータ処理技術や建設技術に至るまで、幅広い知識の習得に努めるとともに実践的能力を養うために実験、実習、CADなど、かなりの時間をカリキュラムに取り入れています。

◇建築学科

建築はいわば人間生活の器です。ゆえに建築技術は、人間やそのくらしを理解し、安全で快適な建築空間を創造する総合性をもつものでなければなりません。

建築学科では、幅広い知識と豊かな創造力をもつ建築技術者を養成することを目指し、専門の基礎科目を重視する一方、設計・環境・構造に関するコンピュータ処理技術など、新しい時代に対応すべく、幅広い知識を習得できるよう力を注いでいます。

3. 専攻科の紹介

本校では平成12年4月から、高等専門学校5年卒業後さらに上級への進学課程としての専攻科が開設されました。

ここで2年間、より高度な教育と研究指導を受けることにより、修了時に(独)大学改革支援・学位授与機構の定めた条件を満たすことにより、大学卒業生と同じ“学士(工学)”の学位を取得することができ、大学院にも進学できます。

一方、平成18年度からは、1年生を対象に主として地域の企業等における実務訓練などを中心とした2ヶ月間の長期インターンシップを実施しています。

4. カリキュラム（令和7年度4年次編入学者に適用）

一般必修科目

授業科目		単位数	学年別配当					
			1	2	3	4	5	
国語	国語Ⅰ	4	4					
	国語Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			
	日本文学	1				1		
社会	歴史Ⅰ	2	2					
	歴史Ⅱ	1		1				
	倫理	2		2				
	地理	1			1			
	政治・経済	1			1			
	哲学	1				1		
	法学	1				1		
数学	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	3	3					
	解析学Ⅰ	4		4				
	解析学Ⅱ	4			4			
	代数・幾何Ⅰ	2		2				
	代数・幾何Ⅱ	1			1			
	総合数学	1			1			
理科	物理学Ⅰ	2	2					
	物理学ⅡA	2		2				
	物理学ⅡB	1		1				
	総合物理	1			1			
	化学Ⅰ	2	2					
保健体育	化学Ⅱ	3		3				
	保健体育Ⅰ	2	2					
	保健体育Ⅱ	2		2				
	保健体育Ⅲ	2			2			
	保健体育Ⅳ	2				2		
外国語	保健体育Ⅴ	1					1	
	芸術	美術	1	1				
	外国語	基礎オーラルコミュニケーション	2	2				
		基礎英語Ⅰ	2	2				
		基礎英語Ⅱ	2		2			
		英語表現Ⅰ	2	2				
		英語表現Ⅱ	4		4			
		英語表現Ⅲ	1			1		
		総合英語	1			1		
		英語講読Ⅰ	2			2		
英語講読Ⅱ		2				2		
英語講読Ⅲ	1					1		
一般必修科目開講単位合計		77	26	25	17	7	2	

専門必修科目及び選択科目

機械工学科

授業科目		単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
必修	応用数学 A	1				1	
	応用数学 B	2				2	
	確率・統計 I	1				1	
	確率・統計 II	1					1
	数学基礎演習*1	1				1	
	数学応用演習*1	1					1
	応用物理 I	2			2		
	応用物理 II	2				2	
	機械工学基礎	1	1				
	コンピュータリテラシー	1	1				
必修	情報処理 I	1		1			
	情報処理 II	1			1		
	数値計算法	2				2	
	材料力学 I	2			2		
	材料力学 II	2				2	
	材料強度学	1					1
	機械要素	1		1			
	工業力学	1			1		
	機構学	1			1		
	機械力学	2				2	
	熱工学 I	2			2		
	熱工学 II	2				2	
	熱エネルギー変換	1					1
	流れ学 I	2			2		
	流れ学 II	2				2	
	流体力学	1					1
	材料学 I	2			2		
	材料学 II	1				1	
	計測工学	1				1	
	機械工作法 I	2	2				
	機械工作法 II	1		1			
	電気工学	2				2	
	電子情報	1					1
	メカトロニクス	1					1
	制御工学	2					2
	生産管理工学	1					1
	工業英語	2					2
	必修	機械実習 I	2	2			
機械実習 II		4		4			
機械創造演習		2			2		
機械基礎製図 I		2	2				
機械基礎製図 II		2		2			
機械設計製図 I		2			2		
機械設計製図 II		2				2	
機械工学実験 I		4				4	
機械工学実験 II		2					2
卒業研究		10					10
専門必修科目開講単位数合計	84	8	9	1	27	23	

* 1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能

授業科目		単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
選択科目	第 2 外国語	2					2
	実践英語 ○	2					2
	工業材料 ○	2					2
	ロボット工学 ○	2					2
	シミュレーション工学 ○	2					2
	シーケンス制御 ○	2					2
	画像情報処理 ○	2					2
	選択科目開講単位数合計	14					14
	一般必修科目単位数合計	77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位数合計	84	8	9	17	27	23	
選択科目最低修得単位数合計	6					6	
修得単位数合計	167	34	34	34	34	31	

○の科目は学修単位

電気工学科

授業科目	単位数	学年別配当					
		1	2	3	4	5	
必	応用数学 A	1			1		
	応用数学 B	2			2		
	確率・統計 I	1			1		
	確率・統計 II	1				1	
	応用物理 I	2		2			
	応用物理 II	1				1	
	電気数学	1	1				
	電気工学基礎 I	2	2				
	電気工学基礎 II	2		2			
	回路基礎	2		2			
修	電気回路 I	2		2			
	電気回路 II	2			2		
	電気磁気学 I	2		2			
	電気磁気学 II	2			2		
	デジタル回路基礎	2	2				
	電子回路 I	2		2			
	電子回路 II	2			2		
	電気電子計測	1		1			
	制御工学 I	1			1		
	制御工学 II	2				2	
	コンピュータリテラシー	1	1				
	プログラミング I	2		2			
	プログラミング II	2		2			
	プログラミング III	2			2		
	電気機器 I	2		2			
	電気機器 II	1			1		
	パワーエレクトロニクス	1				1	
	電力工学 I	1			1		
	電力工学 II	1				1	
	電子物性	1			1		
	半導体デバイス工学	2			2		
	電気材料	2				2	
	情報通信工学 I	2			2		
	情報通信工学 II	2				2	
	目	電気工学演習 I	1	1			
		電気工学演習 II	1		1		
		電気工学演習 III	1			1	
		製 図	2	2			
		電気電子工学基礎実験	2		2		
		電気電子工学実験 I	3			3	
創造工学実験		6			6		
電気電子工学実験 II		3				3	
卒業研究		10				10	
専門必修科目開講単位数合計		84	8	9	17	27	23

授業科目	単位数	学年別配当					
		1	2	3	4	5	
選	第 2 外国語	2				2	
	実践英語 ○	2				2	
	シーケンス制御 ○	2				2	
	電力系統工学 ○	2				2	
	基礎電波工学 ○	2				2	
	電気法規 ○	2				2	
	ロボット工学 ○	2				2	
	画像情報処理 ○	2				2	
	選択科目開講単位数合計	16					16
	一般必修科目単位数合計	77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位数合計	84	8	9	17	27	23	
選択科目最低修得単位数合計	6					6	
修得単位数合計	167	34	34	34	34	31	

○の科目は学修単位

環境都市工学科

授業科目		単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
必	確率・統計	2				2	
	応用数学	1				1	
	応用力学	2				2	
	環境都市工学基礎	2	2				
	コンピュータリテラシー	2	2				
	プログラミング	2		2			
	C A D	1	1				
	土木史	1	1				
	構造力学Ⅰ	1		1			
	構造力学Ⅱ	3			3		
修	構造力学Ⅲ	2				2	
	鋼構造学	2				2	
	水理学Ⅰ	3			3		
	水理学Ⅱ	2				2	
	土質力学Ⅰ	3			3		
	土質力学Ⅱ	2				2	
	コンクリート工学	2			2		
	コンクリート構造学	3				3	
	維持管理工学	1					1
	測量学Ⅰ	1	1				
	測量学Ⅱ	1		1			
	測量学Ⅲ	1				1	
	環境システム工学	2		2			
	上下水道工学	2				2	
	環境保全工学	2					2
	計画数理	2				2	
	都市計画	1	1				
	交通計画	2			2		
	耐震防災工学	3					3
	土木数学	1			1		
目	環境都市工学設計製図Ⅰ	2				2	
	環境都市工学設計製図Ⅱ	2				2	
	環境都市工学実験Ⅰ	2			2		
	環境都市工学実験Ⅱ	2				2	
	環境都市工学実験Ⅲ	2				2	
	測量学実習Ⅰ	3		3			
	測量学実習Ⅱ	1			1		
	環境都市工学総合演習Ⅰ	2				2	
	環境都市工学総合演習Ⅱ	3					3
	卒業研究	10					10
専門必修科目開講単位数合計	84	8	9	17	27	23	

授業科目		単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
選 択 科 目	第2外国語	2					2
	実践英語○	2					2
	計算工学○	2					2
	河川・水資源工学○	2					2
	地盤工学○	2					2
	交通工学○	2					2
	アーバンデザイン○	2					2
	選択科目開講単位数合計	14					14
	一般必修科目単位数合計	77	26	25	17	7	2
専門必修科目単位数合計	84	8	9	17	27	23	
選択科目最低修得単位数合計	6					6	
修得単位数合計	167	34	34	34	34	31	

○の科目は学修単位

建築学科

授業科目		単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
必	確率・統計	2				2	
	応用数学	1				1	
	応用力学	1				1	
	建築学基礎	1	1				
	コンピュータリテラシー	1	1				
	建築CAD基礎	1			1		
	建築CAD応用	1				1	
	建築情報処理演習	1					1
	造形演習	1			1		
	建築計画学基礎	1		1			
	建築計画学	2			2		
	建築計画学演習	1				1	
	地域・都市計画	1					1
	日本建築史	1		1			
修	西洋建築史	1	1				
	近代建築史	1			1		
	建築材料	1				1	
	建築材料実験	1				1	
	建築構法	1			1		
	建築防災工学	1					1
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	1				1	
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	1					1
	鉄骨構造Ⅰ	1				1	
	鉄骨構造Ⅱ	1					1
	構造力学基礎	1	1				
	構造力学Ⅰ	1		1			
	構造力学Ⅱ	2			2		
	構造力学Ⅲ	2				2	
	建築構造設計論	1					1
	建築振動論	1					1
	土質基礎工学	1					1
	建築環境工学Ⅰ	2			2		
	建築環境工学Ⅱ	2				2	
	建築環境工学Ⅲ	1					1
	建築設備計画Ⅰ	1			1		
	建築設備計画Ⅱ	1				1	
	測量学	1				1	
	測量学演習	1					1
	建築生産Ⅰ	1				1	
	建築生産Ⅱ	1					1
	建築法規	2					2
	建築工学総合演習	1				1	
	建築設計Ⅰ	4	4				
	建築設計Ⅱ	6		6			
	建築設計Ⅲ	6			6		
	建築設計Ⅳ	6				6	
	課題演習	3				3	
	卒業研究	10					10
専門必修科目開講単位数合計	84	8	9	17	27	23	

授業科目		単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
選 択 科	応用物理○	2					2
	第2外国語	2					2
	実践英語○	2					2
	建築デザイン論○	2					2
	アーバンデザイン○	2					2
	交通工学○	2					2
	建築環境・設備リノベーション○	2					2
	選択科目開講単位数合計	14					14
	一般必修科目単位数合計	77	26	25	17	7	2
	専門必修科目単位数合計	84	8	9	17	27	23
選択科目最低修得単位数合計	6					6	
修得単位数合計	167	34	34	34	34	31	

○の科目は学修単位

5. 諸経費（令和6年度の額）

（1）学費等

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------|
| ①入 学 料 | 84,600円 |
| 納入時期 | 入学時（3月の予定） |
| ②授 業 料 | 年 額 234,600円 |
| （在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。） | |
| 納入時期 | 前期分は4月、後期分は10月の本校が指定する日 |

- | | |
|----------|--------------|
| ③教科書・教材費 | 年 間 約42,000円 |
|----------|--------------|

（2）その他の経費

- | | | |
|----------|-----------------------------------|-------------|
| ①教育後援会 | 入会金 | 10,000円 |
| | 会 費 | 20,000円（年額） |
| | 納入時期 | 4月の本校が指定する日 |
| ②学 生 会 | 入会金 | 1,000円 |
| | 会 費 | 8,000円（年額） |
| | 納入時期 | 4月の本校が指定する日 |
| ③研修旅行積立金 | 約160,000円 | |
| *寮 費 | 学生寮に入る場合は、次ページを参照してください。 | |
| *生活協同組合 | 入学時に出資金5,000円が必要です（卒業時に全額返還されます）。 | |

6. 奨学金制度

（独）日本学生支援機構の規定に基づき、学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人からの申請により、選考の上、（独）日本学生支援機構から奨学金が貸与または給付される制度があります。また、石川県その他各種団体の奨学金の制度があります。

7. 入学金・授業料の減免及び徴収猶予制度

学業成績優秀で入学金・授業料の納付が困難な者に援助する制度として、次のものがあります。

（1）入学金減免及び徴収猶予

以下のいずれかに該当する学生は、選考の上、入学金の全額、半額若しくは一部免除や徴収猶予することがあります。

- ①大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条で定める入学金減免対象者で、過去に大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号。以下「修学支援法」という。）に定める入学金免除を受けたことがない学生
- ②入学前1年以内に主たる学資負担者の死亡若しくは風水害等の災害に遭うなどの特別の事情により入学金の納付が困難で学業成績が優秀な学生

（2）授業料減免及び徴収猶予

以下のいずれかに該当する学生は、選考の上、授業料の全額、半額若しくは一部免除や徴収猶予することがあります。

- ①大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条で定める授業料減免対象者である学生
- ②入学前1年以内に主たる学資負担者の死亡若しくは風水害等の災害に遭うなどの特別の事情により授業料の納付が困難で学業成績が優秀な学生
- ③授業料の各期の納付期限前6か月以内において、学資負担者の失職等により著しい家計の急変があり、経済的に授業料の納付が困難である学生

8. 課外活動

健康で明るく、充実した学生生活を送り、将来よりよい社会の一員として生活していくため、学生会を中心とした課外活動が奨励されています。

学生会の諸行事として、球技大会、文化部発表会、学園祭(紀友祭)などがありますが、これらは、自主的に運営され、全学生が積極的に参加しています。

クラブ活動には約70%の学生が参加しており、学内のグラウンドおよび学外施設で活動しています。課外活動は、学科の枠を超えた交友関係構築、目標達成を意識した活動という点で、人間形成のうえで大いに役立っています。

例年7月には北陸地区高等専門学校体育大会が、また、8月には全国高等専門学校体育大会が開催され、本校からも多数の選手を派遣し、良い成績をおさめています。その他、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション、英語プレゼンテーションコンテストにも参加しています。

また、学生のアイデアを思う存分発揮できるオンリー1プロジェクトもあります。

9. 学生寮

本校の学生寮は、教育面を重視した大切な施設として、位置付けされています。毎日、教員が当直に当たり、寮生の教育指導を行い、集団生活を通して健全な社会性を身につけた学生を育てよう努力しています。

なお、空室に限りがあるため、審査の上、通学に不便な学生を優先的に入寮決定しています。

寄宿料・寮費の額

(1) 寄宿料 (部屋代)	月額	800円 (1人部屋)	700円 (複数人部屋)
(2) 寮費 (運営費)	月額	8,900円 (8,3月を除く10ヶ月分徴収)	
(3) 寮生会費	月額	320円 (8,3月を除く10ヶ月分徴収)	
(4) 食費	月額	約42,000円 (1ヶ月30日の場合)	

※日額(3食)約1,400円で月毎の開寮日数で決まります

10. 卒業後の進路

(1) 就職状況

昭和45年に第1回卒業生を社会に送り出して以来、本校の卒業生の就職は、きわめて順調であり、それぞれの分野で有望な技術者として高い評価を受け、各企業及び官公庁の第一線で活躍しています。

なお、就職の指導については、多年の実績を活かし、学生の希望・適性を十分に考慮し、万全を期しており、卒業生の約60%が就職しています。

(2) 進学状況

卒業生の約40%は、高専の専攻科や大学3年次(編入学)へ進学しています。石川高専(本校)の専攻科へは、毎年30名程度の卒業生が進学しています。

就職・進学状況については、石川高専公式サイト「入学案内」をご覧ください。

URL <https://www.ishikawa-nct.ac.jp/adm/>

学校案内

